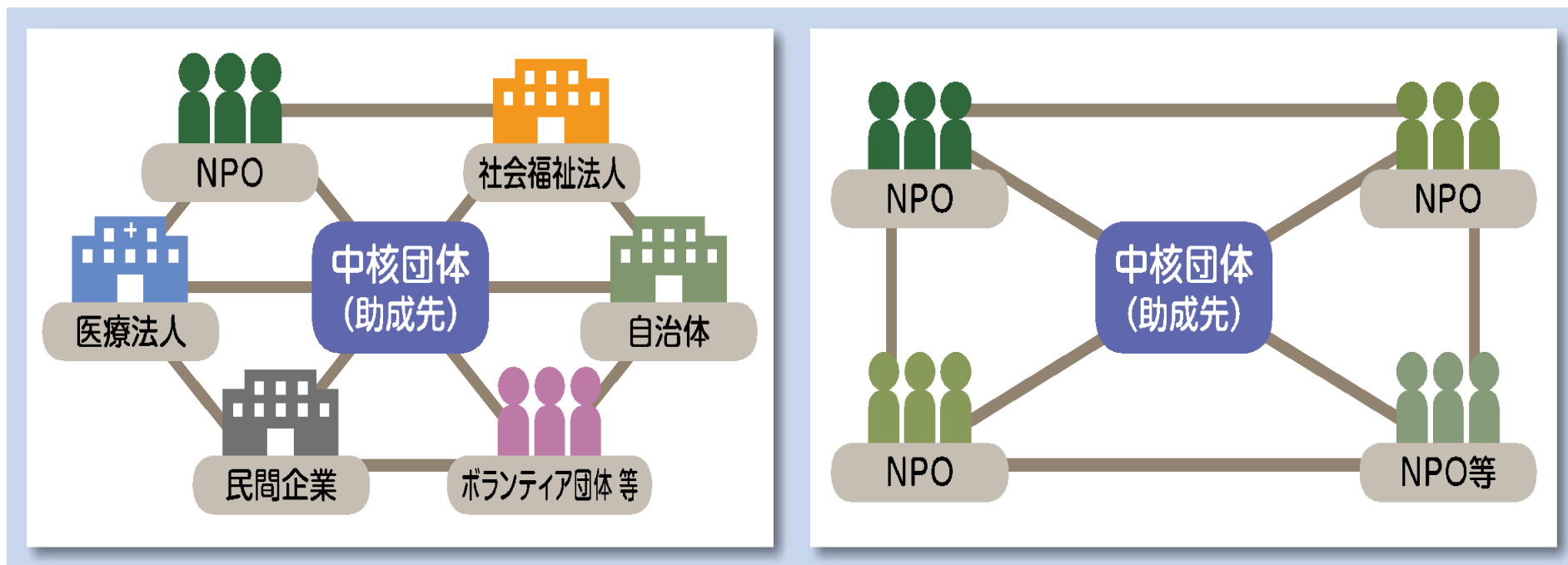
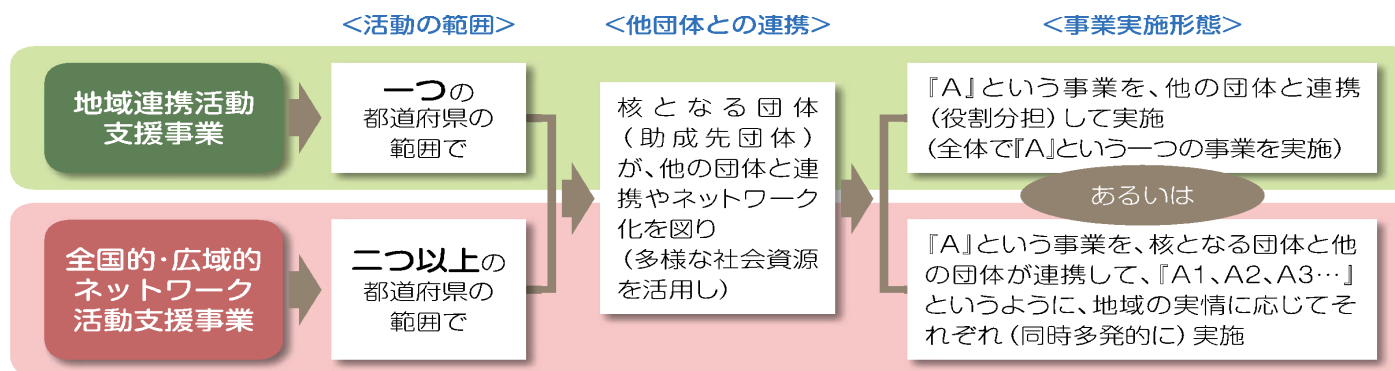


他のNPOや団体と連携・協働して実施する事業のイメージ図

(地域連携活動支援事業、全国的・広域的活動ネットワーク活動支援事業)



- ※1. 助成団体が他の団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、公益法人、企業、自治体、ボランティア団体等）と相互に連携し、協力関係を築き実施する事業です。
- ※2. 連携又はネットワークとは、同じ目的を持つ者同士が相互に協力関係を築いて、事業に取り組むことをいいます。

他のNPOや団体との連携・協働により事業を実施している団体からの声です

他のNPOや団体と連携・協働して行うことで、個々の団体の活動では実現しにくい目標に対し、同じ分野の団体がそれぞれ得意とする活動を行うことで、共通する問題を解決できます。

さらに、実際に連携・協働により事業を実施されている団体からは、次のような効果がある、との声があります!!!

○ 活動の範囲・規模の拡大・充実

- ・ 連携団体の協力で、今まで当団体だけではカバーできなかった地域で事業を実施することができた。
- ・ 福祉分野で広く活躍している団体との連携により、対象事業以外の活動などでも協力を得られるようになった。
- ・ 私たちの団体だけでは思いつかなかったやり方や他の方々とのつながりができ、事業自体に広がりができています。

○ 社会的信用の獲得

- ・ 地域の信用が得られ、新たな参加者・賛同者が得られた。
- ・ 法人格のない任意団体ではむずかしい行政との連携も、法人格のある団体との連携を通じ、可能となった。

○ 相互理解・人材交流など

- ・ お互いの人材が交流することで、各人の資質向上とともに団体のレベルアップにもつながっている。
- ・ テーマやニーズにあった人材について、連携するネットワークを駆使して確保することができるようになった。
- ・ 一つの団体だけで企画するよりも、多様な意見や要望が出され、より充実した内容が実現できている。それぞれの得意分野や専門分野での知識や人脈を使い、分担して企画等を担うことで、短期間で充実した事業が実施できた。

○ 情報の共有

- ・ 他の団体と連携することで、事業に対する考え方の幅が広がった。
- ・ 広範な情報を収集・交換することができ、地域住民のニーズに迅速に応えることができた。
- ・ チラシや備品など、重複するような無駄がなくなった。

○ 広報

- ・ それぞれの団体のネットワークを活用し、十分な広報ができた。

